

2014年度 評価項目の取り組み状況と今後について話し合いについて

流川こひつじ保育園職員全員で取り組み、より良い園づくりを目指していく

保育教育 理念

一人ひとりの命と意欲を大切に、遊ぶ力、思いやる力、生きる力を育む

●2014年度保育、教育目標

・「神の愛」「生命」「平和」「自発性」を大切にするキリスト教保育の理念に基づき、乳幼児一人ひとりの成長と利益を最大限に実現します。一人ひとりの命と意欲を大切に、遊ぶ力、思いやる力、生きる力を育みます。

●目指すこども像

- ①神の慈しみやイエス・キリストの教えを身近に感じ、神の愛と信頼のうちに歩もうとする子ども
- ②自分が大切な存在として受け入れられていることを感じ、安心して生活し、ありのままの自分や個性を表す子ども
- ③ゆったりとした家庭的な雰囲気の中で、食事や健康、安全に気をつけ自分で身の周りのことをしながら、心地良さを感じて暮らす子ども
- ④しっかりと自己主張をし、また他者の立場、違いを認め合い、思いやりを持って人とのつながりを喜ぶ子ども
- ⑤豊かな感受性や好奇心を持って、物事に意欲的に取り組み、存分に自ら育とうとする力を発揮する子ども
- ⑥自然事象の美しさや不思議さ、喜びに心を動かす感性を持ち、人格の基礎となる豊かな情操に溢れる子ども
- ⑦明るく自由な雰囲気と環境に自らかかわって遊び、幼児期の自発性を発揮しながら、主体的に活動や生活を創り出す子ども
- ⑧これからの生きる姿勢、生きる力の基礎を身につけていく子ども

●広島県福祉サービス第三者評価委員会の福祉サービス第三者評価を使用して

2014年度流川こひつじ保育園

1. 事業所運営の基本 (1) サービス質の確保

No.	小項目	設問	総評(意見・改善策)
1	職員会議	職員間において、定期的または随時に情報共有する体制がとられていますか。他5項目	各種会議があり、月に一回は幼保の合同の全体研修会がある。保育園としては、2週間に一度程度のペースで保育者が集まり、ミーティングをしている。日々の園務日誌や記録を保存して、出席できなかった職員にも伝わるようにしている。幼保全員が話し合える時間をもっと持ちたい。
2	指導助言の実施体制	職員が指導助言を受ける仕組みがありますか。他5項目	職員の課題や保育について指導を受けたり、皆で話し合う機会を持っている。今後は、園内の助言だけではなく外部の専門職からの研修会に、これまで以上にさらに積極的に参加していき、指導や助言も受けていきたい。
3	個人情報の適切な取り扱い	子ども(保護者等を含む)に関する情報(データを含む)は、適切に取り扱われていますか。他5項目	適切に取り扱われている。記録の記載方法について研修をしていく必要もあるので、行っていく。

2. 子どもの発達援助 (1) 発達援助の基本

No.	小項目	設問	総評(意見・改善策)
4	保育課程	保育課程は、関係法令や子どもの発達特性を踏まえ、長期的見通しをもって適切に編成されていますか。他5項目	編成されている。今後は、職員間での話し合いの上に実際に合わせの見直しを充実させていく。
5	指導計画	指導計画は、定期的に評価および見直しが行われていますか。他5項目	指導、計画については評価や見直しは行われているが、職員全員でこの情報をシェアすることが中々難しい。こういった時間を今後さらに増やしていく。
6	理解と受容	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容していますか。他5項目	一人ひとりの子どもの置かれている状態及び家庭、地域社会における生活の実態を把握するとともに、子どもを温かく受容し、適切な保護、世話をし、子どもが安心感と信頼感を持って活動できるようにすることを大切にしている。
7	さまざまな人との交流	さまざまな年代や文化を持つ人たちに親しみを持つよう働きかけていますか。他5項目	本園の教育方針の中で、一人ひとりの違いを認め合い、尊重し合うことの大切さを掲げ実践しているが、0歳児から6歳児までの交流をより増やして、今後は保護者の方々に対して、年代の異なる人たちと交流する目的について説明したり、積極的に文化の違いを伝えていく。
8	先入観等を植え付けない配慮	性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないような配慮を行っていますか。他5項目	

(2) 健康管理・食事

No.	小項目	設問	総評(意見・改善策)
9	健康状態の把握	子どもの健康管理は、適切に行われていますか。他5項目	健康診断や歯科検診も適宜な回数で実施している。健康管理に関するマニュアルがあり、対応方法も統一するようにしている。クラス全体や他クラス、園長にクラスの子どもの健康状態を周知するようにしている。これからも徹底していく。
10	健康診断等の実施	健康診断や歯科検診を定期的に行っていますか。他5項目	
11	食事環境の整備	子どもにとって、食事が楽しみとなるよう配慮していますか。他5項目	年間の食育計画を立て、楽しみとなるように配慮している。毎月、旬を大切に食育内容で給食便りを発行している。2歳児は幼稚園児と共に、じゃが芋掘りやさつま芋掘りを楽しんだり、年長児が育成に関わった新米を全員で味わいながら食育の幅を広げている。また、食事に関わる様々な人々たちに対して、興味や関心を持ち、感謝する機会を持っている。
12	食育の推進	子どもが生活と遊びの中で、食事を楽しみ合うよう、働きかけていますか。他5項目	
13	子どもの状況に応じた食事の提供	アレルギー疾患や体調不良の子どもがいる場合、子どもの状況に応じた食事が提供されていますか。他5項目	食物アレルギーの安全な除去食提供はもとより、一人ひとりの子どもの体調などを配慮し、連絡ノートや登園時の保護者からの話等を総合して、必要な食事の提供を行っている。また、誕生日会があり、保護者も給食を食べる機会はあるが、今後は試食会のような機会を設け、栄養・味つけなどの内容を保護者の方へ伝えていく。
14	家庭との連携	保育所で提供する食事について、保護者等に対して説明し、理解を得ていますか。他5項目	

(3) 保育環境

No.	小項目	設問	総評(意見・改善策)
15	空間の確保	保育所は、子どもが心地よく過ごせるような空間が確保されていますか。他5項目	温度や湿度、環境構成は職員間で話し合い、行き届いた配慮の環境を心がけている。安心して過ごし、十分に楽しめるよう季節の花などをふんだんに飾ったり、自然物などを取り入れている。
16	設備・環境	保育所は、子どもたちの心身の安らぎ、くつろぎの面から配慮された場所となるよう工夫されていますか。他5項目	
17	保育環境の整備	子どもが自発的に活動できる環境を整える工夫を行っていますか。他5項目	本園の教育方針では、伸びやかに自己を発揮すること、一人ひとりの輝く感性を育むこと、豊かな創造力を培うことを掲げている。遊びを自ら選ぶこと、創造力を豊かに工夫していけるような環境を用意している。
18	社会的なルールや態度の獲得	子どもが、望ましい社会的なルールや態度を身につけるよう、働きかけていますか。他5項目	生活環境の獲得について、一人ひとりの子どもに合わせて援助する環境があり、自分でやろうとする気持ちを大切にしている。
19	表現活動	身近な環境の中で、感覚を豊かにしたり、活動を楽しめるよう働きかけていますか。他5項目	身近な自然と関わることができるよう、工夫や取り組みを行っている。様々な表現活動の中で、自発性の芽生えを尊重する取り組みをしている。遊びや生活を通して、子どもの年齢に応じた人間関係の形成が行われるように工夫している。子ども同士のトラブルが起きた時には、お互いの気持ちを少しでも理解し、育ち合えるように援助している。
20	人間関係	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう働きかけていますか。他5項目	
21	乳児保育	乳児保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。他5項目	衛生管理マニュアルを作り、SIDSに対する知識を深めることを、全職員で取り組んでいる。と、ともに、一人ひとりの状況をよく把握できるようにミーティングをしている。
22	長時間保育	長時間保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。他5項目	家庭的な雰囲気やくつろぎ感を作り出す為の工夫や保護者との連携を密にしている。
23	障害児保育	障害児保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。他5項目	一人ひとりに応じた関わりと集団の一員としての関わりの両面を大切にしながら保育を展開している。

3. 子育て支援
保護者等への支援

(1)

No.	小項目	設問	総評(意見・改善策)
24	信頼関係の構築	保護者等の気持ちに共感しながら、信頼関係を築くよう努めていますか。他5項目	写真展示や保育参加や保育参観を行い、保育の内容を開示している。連絡帳や送迎時など保護者の方々や職員とができるだけ密に連携を取れるようにしている。これからも連携して子育てをしていけるよう努めていきたい。
25	保護者等との連携・共有	子どもの生活の連続性を踏まえ、保護者等との連携および情報共有が行われていますか。他5項目	
26	相談・情報提供	保育に関する知識や技術を活かして、保護者等からの相談にあたっていますか。他5項目	保育士としての視線から様々な相談を受けることが多い。同じクラスの担任や上司とは情報共有するケースもあるが、プライバシーに関わることについては実名を挙げず、ケース会議をすることもある。今後も人権には十分に配慮していきたい。
27	不適切な養育に対する支援	虐待等、不適切な養育が行われている可能性があると感じた場合は、速やかに対応していますか。他5項目	虐待に対しての知識は内部研修などで十分に持っている(マニュアルもある)が、外部の研修へも積極的に参加をしていく必要がある。
28	虐待等への対応	虐待を受けている子ども(虐待の可能性のある場合を含む)に対して、適切に対応していますか。他5項目	

4. 子どもの安全
安全・事故防止

No.	小項目	設問	総評(意見・改善策)
29	食中毒・感染症対策	食中毒や感染症に対する予防および発症後の対策は、適切に行われていますか。他5項目	感染症や食中毒発症後の対策については、マニュアルだけでなく応急処置に必要なものがすぐに使えるように、1セットになっている。また、マニュアルも動揺せずにすぐに取り出しやすいようにラミネートがされた状態で持ち歩いている。
30	事故・天災への対応	事故や天災が発生した場合、速やかに対応できる体制がありますか。他5項目	地震などの際、動揺せずにすぐに避難行動ができるように訓練をしたり、避難グッズを常備している。いろいろな災害を想定した訓練が必要である。今後は全員で多方面の災害について学んでいく。
31	不審者対策	不審者の侵入などに対応できる体制がありますか。他5項目	厳しいセキュリティが在り、訓練も行っている。しかし、セキュリティドアの開錠とともに起こる危険性については、今後さらに方法を考え合っていく。
32	関係機関との連携協力	子ども家庭センター、要保護児童対策地域協議会、小学校等と連携し、必要に応じて協力体制を築いていますか。他5項目	今必要性のある連携については行っている。今後、様々な方面でいつでも連携が取れるように考えていく。
33	地域の子育て支援	地域の子育て支援の拠点として、子育て家族に対して保育所機能を還元していますか。他5項目	平日の一時あずかり事業を行っており、土曜日には地域活動もしている。沢山の地域の子育て家庭の方々が来られている。子育てが楽しくなるように、子育てをする方同士のつながりが持てるように工夫している。今後も工夫していきたい。
34	一時保育	一時保育のための環境が整備され、保育内容や方法に配慮していますか。他5項目	